

平成3年度
(1991)
第31回大会

男子優勝 札幌藻岩 女子優勝 札幌静修

【 専門委員長 寸評 】

北空知支部最初の全道大会があった。滝川市でのバレーボール全道大会と日程が重なり、
宿舎の確保ができず、やむなく芦別市開催となったのだ。当番校の滝川高校の職員・補助
員の生徒たちには多大なご不便をかけ、またご協力いただいたことに感謝し、心からお礼
申し上げたい。

さて、大会の団体戦では、順当に男・女とも第1シードが危なげなく優勝を決めた。男
子は札幌藻岩が2年連続12回目の優勝、女子は札幌静修が3年連続13回目の優勝。個
人戦の男子シングルスでは、小林（札幌日大）が圧倒的な強さで優勝。全国大会での活躍
が期待できる。ダブルスの決勝では、白熱した試合が展開されたが、僅差で、小林・鈴木
組（札幌日大）が、佐々木・佐藤組（札幌藻岩）をくだった。

女子シングルスでは、団体戦決勝の再現でもつれるものと思われたが、小畑（札幌静修）
が本田（札幌清田）をあっさりと降した。ダブルスでは、小畑・伊藤組が他を寄せつけず
優勝。小畑は、団体・単・複と2年連続の三冠。

全般的には、旭川（男子）・函館（女子）のレベルが向上している。個人の男子では佐
藤（札幌藻岩）・下沢（室蘭栄）、女子では本田（札幌清田）・八木（札幌聖心）・丸勢（函
白百合）の1・2年生達が将来楽しみな選手達である。

【 全国大会 】

団体男子の札幌藻岩はドロ運に恵まれず、強豪地区神奈川の慶應義塾に当たってしまっ
た。しかし、1年生の佐藤（健）が1勝を上げるなど健闘したが初戦敗退。女子の札幌静
修は、昨年と同じメンバーでベスト8の希望を持てたが、緊張したのか普段の力を出せず
に初戦敗退という結果は残念であった。

男子個人戦シングルスでは、小林（札幌日大）がよく奮闘し、3回戦まで進出した。北
海道勢としては久々にベスト16の壁を破り、全国高校ランキング選手が出るかと思われ
たが、3回戦ファイナルセットで負けたのは、非常に惜しかった。

又、ダブルスでも、小林・鈴木組（札幌日大）は3回戦に進出し、佐々木・佐藤組（札

幌藻岩)も2回戦進出まであと一歩というところまで健闘して涙をのんだ。

女子個人戦のシングルスでは、小畑(札幌静修)の上位進出が期待できたが、団体戦での不調が響いたのか、2回戦で敗退。同じく期待していた本田(札幌清田)は、シード選手と接戦だったが1回戦敗退。ダブルスでも小畑・伊藤組(札幌静修)の上位進出が期待されたが、1回戦で思わぬ敗退となった。

今大会では、当初女子の活躍に大きな期待が持てたのだが、思わぬ不振に終わり、逆に男子が健闘するなど、勝負とは分からないものである。

女子の不振については、良く分析し今後の指導に生かしていきたい。

(専門委員長 緒方 寿人)

優勝のよろこび

男子 札幌藻岩高等学校

僕達、札幌藻岩高校テニス部3年生は、全員硬式の経験が無く、入部してからとにかく強くなるために、この3年間連日の厳しい練習に耐えてきました。そのため優勝の喜びは今までで一番大きいものでした。

3年生にとっては最後のインターハイなので、この全国大会に出場しようと全員一丸となって練習してきました。過去10連覇という先輩方が築き上げた素晴らしい伝統を背負い、負けられない、勝たなければならないという気持ちが、大きなプレッシャーになりましたが、練習では絶対他の学校には負けていないという自信がこのプレッシャーを和らげ、自分たちの力をすべて出し切ることができました。

今回の団体戦の決勝では札幌地区予選と同じく新川高校との対戦となりました。地区予選の時に勝ったからといってもかなり不安はありました。しかし、試合に出る人も応援する人も、気迫や闘志を前面に出して挑みました。その結果、最初0-2で負けていたダブルスを6-2で取り、シングルスも6-1で取って2-0で新川高校を降し、優勝することができました。

みんなであつらい練習に耐えて、こうして優勝を勝ち取った喜びは一生忘れることはないと思います。

ここまでやれたのも顧問の緒方先生、OBの先輩方、父母の方々、そしてチーム全員の協力のおかげです。ありがとうございました。

(札幌藻岩高校)

優勝のよろこび

女子 札幌静修高等学校

私達テニス部は、今年3年連続13回目の優勝をすることができました。部員は10名と少人数ですが、メンバー6人の中にも選ばれるために、それぞれ目標を持ち、練習を続けてきました。

地区大会では、完全優勝を狙っていましたが、2－1という結果になってしまいました。全道大会に向けては、ダブルスを落とさないように、シングルスも快勝できるように練習をしてきました。

その結果全道大会では、プレッシャーの中、選手がそれぞれががんばり完全優勝することができました。メンバーに選ばれなかった部員は、応援という形で選手の強い味方となってくれました。この大会で団体優勝というのは、部員全員が団結してこそ勝ち取ることができるものだとわかりました。

個人戦でも、シングルス、ダブルス共に良い成績を残すことができました。

8月1日から静岡県静岡市で行われた全国大会では北海道代表として出場しましたが、団体戦も個人戦も2回戦を突破することができず残念でした。

しかし、3年生にとって最後のインターハイに出場することが出来たので良かったと思います。後輩達には、来年の全道大会に向けて優勝を目標にこれからもがんばってもらいたいです。

最後に今まで指導して下さった顧問の先生、多くの先輩達に感謝いたします。

(札幌静修高校 主将 細渕亜紀子)

全国高校総体（第81回全国高等学校庭球選手権大会） 静岡

8月2日～8日

静岡県草薙運動場庭球場

静岡市西ヶ谷総合運動場テニスコート

男子	個人戦シングルス	優勝	本村剛一（堀越）
女子	個人戦シングルス	優勝	杉山 愛（湘南工科大附）